令和７年度　第１回海津市総合計画審議会　会議録

日時：令和７年８月 27 日（水）10：00～11：40
場所：海津市役所　東館４階　災害対策本部室

○出席者
委員：藤井えりの、森廣美、磯方直美、水谷嘉明、野寺泰睦、伊藤嘉保、森正弘、伊藤衛、後藤純二、伊藤義美、岡田博邦、足立葉子、向田富紀子、島田貴子、後藤亜子、田原晃成

事務局：近藤総務企画部長、山崎企画課長、杉野課長補佐、岩田課長補佐

○欠席者
委員：伊藤貴夫、岡田均、石原伸夫

発言者	内　　容
事務局	これより令和７年度　第１回海津市総合計画審議会を開会する。 本日の会議は 19 名中 16 名出席で、海津市総合計画審議会条例第６条第２項の規定に基づき、過半数の出席があることから本日の会議が成立することを報告する。
市長	（あいさつ）
事務局	（委嘱状交付及び委員紹介） 代表で岐阜協立大学藤井准教授に交付する。 （会長・副会長の選任について） 選出について委員に意見を求めたところ、事務局一任との意見があり、事務局案を提示。全員の賛成を得て、会長に伊藤 義美委員、副会長に森廣美委員が選出された。
会長	（あいさつ）
事務局	ここで、市長は他の公務のため退出する。 （市長退席）
会長	（議事） 最初に、「第３次総合計画策定方針について」事務局より説明願う。

事務局	（事務局より資料 1-1、1-2、参考資料 1～3 に基づき説明） ・海津市第３次総合計画策定方針（資料 1-1） ・海津市第３次総合計画策定スケジュール（資料 1-2） ・海津市第２次総合計画後期基本計画（参考資料 1） ・海津市総合計画策定条例（参考資料 2） ・海津市総合計画審議会条例（参考資料 3）
会長	意見・質問等あれば発言をお願いする。
委員	今後は海津イレブンをなくすという解釈でよろしいか。
事務局	重点施策については、基本構想で決めるのではなく、実施計画で、そのときの課題に対応する重点テーマを毎年決めていく。
委員	第２次総合計画後期基本計画における「子育て世代」には、これから結婚しようとする若者も入っているのか。
事務局	これから結婚しようとする若者から、大学生の子どものいる親までで構成される世代を子育て世代の範囲と決めている。
委員	中学生のワークショップを実施する目的を説明願う。
事務局	中学生の頃からふるさと教育を大事にし、生徒一人ひとりがまちに対する関心を高め、海津市の未来を考えていくことでより身近に感じてもらい、シビックプライドを醸成するといった目的で実施をする。
委員	第２次総合計画で決めた将来像「緑と人がきらめく　輪でつながるまち海津」の作り方について説明願う。
事務局	第２次総合計画を作成する中で、どういった施策を進めていくのか、海津市をどうＰＲするかを審議会で考え、将来像を作成した。
会長	「第３次総合計画策定方針について」事務局の案としてよろしいか。
委員	（異議なし）
会長	異議なしということで案のとおり進めていただきたい。 次に、「市民意識調査について」事務局より説明願う。

事務局	（事務局より資料 2-1、2-2 に基づき説明） ・海津市民意識調査（資料 2-1） ・市民意識調査票　新旧対照表（資料 2-2）
会長	意見・質問等あれば発言をお願いする。
委員	「3.暮らしやすさの評価について」、数字が大きいほど満足度が低いというのは分かりづらいので変更できないか。
事務局	了承。
委員	「スマート農業」や「6 次産業化」などのなじみのない言葉については、補足説明があったほうがよいのではないか。
事務局	了承。
委員	回答の選択肢「どちらともいえない」をなくすと回答の傾向がはっきりわかると思うがどうか。
事務局	検討させていただく。
委員	アンケートについて、政策に対する具体的なアクションが決まりやすい内容ではあるが、海津市の理想像が見えづらいと思うので、ワークショップで拾うとよいと思う。
事務局	了承。
委員	問 13 に、避難方法についての文言を入れていただきたい。
事務局	了承。
委員	問 23 で、外国人を受け入れる市民と受け入れられる側の外国人のそれぞれの立場のニーズを把握するため、回答する人が外国人か否かがわかる質問を設けてはどうか。
事務局	検討させていただく。

委員	他市町において、総合計画を策定するプロセスや総合計画に書かれている文言について、多様性に関する理解の不足や特定の価値観を押しつけているような文言が見受けられ、修正したことがある。委員におかれては、アンケートの文言について、そういった文言がないかを確認していただきたい。
委員	外国籍の子も増えているため、支援員や翻訳機を活用した支援についての項目があってもよいのではないか。 また、問 21 の「教育相談・支援体制の充実」というのは、教育相談と生徒の支援体制という理解でよろしいか。
事務局	外国籍の子に対する支援員の配置などについて追加をさせていただく。 「教育相談・支援体制の充実」については、保護者に対する相談も含む。
委員	13 ページの「海津市のまちづくりに関してご意見がございましたらご自由にお書きください」について、「自由にお書きください」だとなかなか書きにくいと思うので、「海津にあったらいいなと思う施設は何ですか」や「どんなまちだと嬉しいですか」など問いかけ方を工夫し、高校生などの若い世代が答えやすい質問にし、その声を反映できるようなアンケートにするとよいと思う。
事務局	検討させていただく。
委員	「外国籍の子ども」の文言について、国籍は日本だが、親のどちらかが外国人で日本語が話せない人がいるので「外国にルーツを持つ」とした方がよいのではないか。
事務局	了承。
委員	海津市在住で他市町に通っている高校生にも意見を聞く場を設けたほうが良いのはないか。
事務局	検討させていただく。
委員	前回のアンケート調査では、回答率が 40%ぐらいだったため、対象者を 3,000 人にすることはできないか。
事務局	海津市の人口が約 31,000 人のため、標本数が 400 人あれば、信用率 95%

	となる。前回の回収率も勘案して2,000人とした。
会長	事務局は委員からの意見を基に修正願う。 「第３次総合計画策定方針について」事務局の案としてよろしいか。
委員	（異議なし）
会長	異議なしということで案のとおり進めていただきたい。
事務局	第１回海津市総合計画審議会を終了する。（閉会） （11：40）